

おおよど 社協だより

令和7年 **3** 月

住み慣れた地域で、共に支え合い、

幸せに暮らせるふくしのまちづくり



- 北野街づくりの会
- ボランティア活動保険のご案内
- フードパントリーを実施しました
- サロンだより 今木生き生きサロン
- 家計改善セミナー開催のご案内
- 地域福祉の推進に貢献されている方のご紹介



～地域交流の拠点（ハーブ園）～ 北野街づくりの会・会員とご協力いただいている方です！



社会福祉法人 大淀町社会福祉協議会

〒638-0821 奈良県吉野郡大淀町下湊1223番地

☎0747-52-1941

<http://www.oyodo-syakyo.jp>



社協だよりは共同募金の配分金により作成しております

ボランティア活動は、地域を良くし、心地よい町にするための素晴らしい手段です。地域社会に貢献し、住民同士の絆を深めることで、より良い社会を築いていくことができます。

★地域の交流の場に★

北野街づくりの会



北野地区には、「北野街づくりの会」というボランティア団体があります。この団体は、畑で野菜を育て、無人販売所を地域住民の交流の場として提供しています。低額または無料で野菜や陶芸品を提供し、地域の人々の生活の一部となっています。

10年前、この団体は月に1回、朝市で北野産の農産物を販売していました。しかし、コロナ禍で朝市での販売が難しくなり、無人販売所を設置しました。当初は利用者が少なかったものの、会員の呼びかけにより利用者が増え、散歩の途中で新鮮な野菜を購入したり、ベンチで休憩する住民にとって大切な交流の場となっています。無人販売所では、利益を追求せずに低額または無料で野菜を提供していることから、最近の物価高騰により住民に大いに喜ばれています。

福祉と共に歩む活動

週に2回、障がいのある方が手伝いに来られ、野菜の収穫などを行います。作業中は穏やかに談笑したり、収穫した野菜を食べることで交流を深めて



います。メンバーには高齢者が多く、障がいのある方々との交流を通じて、多様な人々の存在に気づき、共に力を合わせることの大切さを感じています。

地域住民の協力による活動

「北野街づくりの会」のメンバーは、北野地区内の畑で苗を育て、個人農家から提供された野菜も取り扱っています。冬には大根やネギ、ブロッコリー、夏にはスイカが収穫され、スイカ割りも行われます。活動に必要な道具はメンバーが持ち寄るほか、住民からの寄付によりまかなわれています。

地域資源の循環を目指す!



「北野街づくりの会」代表の伊藤さんによると、活動を多くの人に知ってもらい、北野地区で育てられた新鮮な野菜を広く提供することを目指しています。また、北野の余剰資源を生活に困っている方々に提供し、地域全体で資源が循環するようになりたいと考えています。「自治会をはじめ、さまざまな方々の支援と協力があつたからこそ、この活動を続けることができます。引き続き、ご支援をお願いしたい」と感謝の意を述べています。



令和7年度

ボランティア活動保険のご案内

ボランティア活動中のさまざまな事故によるケガや損害補償責任を補償します。

補償期間（保険期間）

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

※途中加入の場合は、加入申込手続完了日の翌日から令和8年3月31日まで

保険料

○基本プラン 3500円

（地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません）

○天災・地震補償プラン 5000円

加入手続きについて

・所定の「加入申込書」に必要事項をご記入・ご署名（フルネーム）またはご捺印のうえ、保険料を添えて、お申込みください。

※地方公共団体、法人の場合は必ず公印、法人印を1つ捺印ください。

「加入申込書」の配布及び補償内容の内容については、社会福祉協議会にお尋ねください。

・令和7年度の加入手続きは令和7年2月3日から行っています。

◇ボランティア活動に興味がある方へ◇

- 何か、ボランティア活動を始めたいが、どうすれば良いか、分からない。
- 町内にどのようなボランティア団体があるのかわりたい
- 新しくボランティア団体を立ち上げたい等

右記のように疑問等がございましたら、1つ相談ください。



大淀町元気な地域づくり推進協議会で フードパントリー事業を実施しました

令和6年11月25日から
12月20日までの約1か月
間にわたり、大淀町元気
な地域づくり推進協議会
では町内で生活に困って
いる世帯に対して食料を
無料で配布する「おおよ
どフードパントリー」を
実施しました。



今年度から大淀町の委託を受けて行われたこの
事業は、単に食料を配布するだけでなく、各法人
の福祉機能を生かした相談型の支援も行っていま
す。申込者は約60世帯で、病气やけがで働けない
方や年金だけでは生活が厳しい高齢者などが訪
れ、福祉相談も同時に行いました。

今回は受け取り場所を4か所設け、自宅から近
い場所を受け取れるよう工夫しました。また、自
分で受け取り場所まで来られない方には、代わり
に来られた家族や親戚の方にお渡ししました。

来年度も引き続き、生活に困っている方と繋がり
を持つことができればと考えています。



※ 大淀町元気な地域づくり推進協議
会は町内にある6つの社会福祉法人が
「延明福会・仁風会・すぎの子会・せ
せらぎ会・美吉野園・大淀町社会福祉
協議会」協働で運営しています。



今木 生き生きサロン

昨年10月から今木公民館で毎月
2回開催されているサロンは、会
員同士の親睦と生きがいを目的と
しています。1月28日(火)のサ
ロンでは、まず町内で広まってい
る「いきいき百歳体操」や「誤嚥
にナラ〜体操」が行われまし
た。体操の後は、サロン活動とし
てカード遊びが行われ、今回のカ
ード遊びは、束になっているカードの中から1枚を引き、カ
ードに記載されたひらがな1文字から始まる言葉を3つ答えるゲ
ームでした。例えば、「あ」のカードを引いた場合、「あざ」「
あめ」「あんど」などの言葉を答えます。参加者からは「頭
の体操にもなり、非常に有意義な時間を過ごすことができた」
といった声が寄せられました。



サロンの企画は、世話人4人が
案を出し合って毎回計画していま
す。サロン活動は楽しく元気よ
く、参加者全員が「来て良かつ
た」と思える居場所として活発に
行われています。

今後も、サロン活動を通じて地
域のつながりを深め、参加者同士
の親睦をさらに深めていきたいと
考えておられます。また、新しい
プログラムやイベントの導入も計
画しており、今後の活動がますます
充実していくことが期待されま
す。



家計改善セミナー開催のご案内

Q. このようないじょう

お困りではございませんか?

- 家計簿の付け方が分からない
- 物価高で、節約したいけれど何から
始めたら良いかわからない
- 賢い消費習慣を身に付けたい

等

右記のようなお困りことに対して、経済的に健全
な生活を送るための知識とスキルを身に付けてもら
うために家計改善セミナーを開催いたします。

○ 開催日：令和7年3月26日(水)

13時30分〜15時00分

○ 開催場所：大淀町文化会館研修室A

○ 参加費：無料

○ 申込方法：QRコード又はTELによる申込

(30人先着順)

○ 申込期限：令和7年3月26日

☆プログラム☆

- I 生活費の削減方法
- II 賢い消費習慣
- III 家計改善ワーク

講師：徳田 麻里子 氏

CFP® 認定者

(ファイナンシャル・プランナー)

CFP®は、米国外においては Financial Planning Standards Board Ltd.
(FPSB) の登録商標で、FPSB とのライセンス契約の下に、日本国内にお
いては NPO 法人日本 FP 協会が商標の使用を認めています。



【申込QRコード】

参加者全員に日用品を
配布いたします!



※ プログラムは予定になく変更する場合がございます

地域の住民さんから「ありがとうございます」という言葉が励みになっています

◇地域福祉の推進に

貢献されている方のご紹介◇



西町三丁目地区
なかにし まさお
中西 昭雄様

中西昭雄さんにインタビューしました。長年にわたり大淀町戦没者遺族会の役員を務めている中西さんに、現在の活動内容や苦勞、今後の課題、そして活動を続けて来て良かったことについてお話を伺いました。



Q 現在の活動内容について教えてください。

「県や町主催の戦没者追悼式への参列や護国神社の事業への参加、戦没者の墓地の清掃を中心に活動を行っています。」

Q 活動において苦勞されたことは何ですか？

「急な階段のある墓地へのスロープ設置や、戦死者名簿が刻まれた墓碑を建てるなどの工夫をしました。特に、墓地のスロープ設置は企業からの寄付により実現しました。また、高齢化による会員の参加の難しさにも対応しています。」

Q 今後の活動における課題に

ついて教えてください。

「会員の高齢化が大きな課題です。そのため、新しい会員の確保が急務です。また、追悼式の参列者が減少し、足腰が悪い会員のサポート体制も求められています。」



遺言・相続のいとなみ（相談）
無料

なかで

中出司法書士事務所

大淀町土田二八四一九 ライフ・コーナン横

JA西部支店前

☎〇七四七(五二)六五七七

Q 活動を続けて来て

よかったことは何ですか？

「戦没者への追悼と遺族への敬意を学び、多くの貴重な経験を積むことができました。また、様々な人との交流や人脈の広がりが大きな成果です。墓地の清掃活動では、率先して行動し、車がない方の送迎を行うなど、多くの会員から『ありがとう』の言葉を受け、励みになっています。」

中西さんの活動を通じて、戦没者への追悼と遺族への敬意が深まり、多くの人との絆が生まれています。今後も新しい会員の確保や参加しやすい環境作りを進めていくことで、活動が継続されていくことを願っています。

